

## 『自分自身と向き合った留学生活』

氏名: 堂園 紗也花

所属: 国際文化学部・国際文化学科・4年

派遣留学先: 華東師範大学 (中国)

派遣留学期間: 2025年9月～ (半年)

私はこれまで学んできた中国語の実用的な語学力の向上を目指し、中国への留学を志望した。中国の中心的な都市である上海で現代文化に触れながら学ぶことができると考え、上海にある華東師範大学を選んだ。

華東師範大学の授業では、音読録音や中国人や外国人留学生への授業内容に関するインタビューなど実践的な課題が多かった。録音を聞き返すことで自分の発音を客観的に聞くことができ、発音の改善点に気づくことができた。また、単語テストを通して、音声から漢字や声調を書く勉強方法が身につく、リスニング力の伸びも実感した。

また、留学生が参加できる様々なイベントも行われており、学内で上演された京劇を観に行く機会があった。日本で、京劇を描いた中国映画を観たことがあり、興味を持っていたので実際に観ることができて感動した。

約4か月の留学生生活を振り返って、自分自身と向き合うことができた留学生活だったと思う。初めて親元を離れて一人で生活をしたり、会話の際に自分のリスニング力やスピーキング力のレベルを知ったりするなど、自分自身のことをよく知るきっかけになったと思う。そのため、今回の留学生活で見つけた課題を解決するようこれから行動し、留学生活での良い経験を自信につなげていきたい。そして、短期派遣留学制度による本学の支援や留学を応援してくれた両親に感謝したい。

